



# あやめ



*Aim High*

with 「感謝」 「尊敬」

文責：生徒指導主事

## 『新入生歓迎会』 全校生徒、意気投合！！

4月9日（火）毎春恒例の生徒会主催新入生歓迎会が行われました。1年生にとっては、5日の入学式、8日の学年・学級開き・給食開始に続き、9日午後の新入生歓迎会、さらに週の後半には教科の授業も開始され、目まぐるしい1週間だったと思います。小学校から中学校へと、大きく環境が変わったこの1ヶ月。新しい学校生活のリズムに慣れようと必死に頑張る1年生の姿がとても印象的でした。

さて、新入生歓迎会では、そんな1年生のために生徒会本部役員を中心に（教員も参加し）、中学校での1日の生活の様子が寸劇のスタイルで紹介されるなど、終始和やかな雰囲気です。また、縦割り学級の系列である色組の抽選会も行われました。今後、「ハレルヤ」の系列練習や学園祭（紫翠祭）の取り組みなどが、この色組系列によって進められていきます。3年生をはじめ先輩方が優しく支えてくれる中で、櫛形中の行事を楽しく体感できると良いですね。また、1年生は部活動見学をし、部活動をそれぞれ決めました。部活動は、中学校生活の大きな部分を占めることになります。3年間の活動が大きな財産となるよう、仲間と共に取り組んでいきましょう。



### 縦割クラス編成《色組抽選》

色組	赤	青	黄	緑	橙
3年⇒	2組	3組	1組	4組	5組
2年⇒	4組	2組	3組	1組	5組
1年⇒	2組	1組	3組	4組	なし





# 3年生、充実した“修学旅行”でした!

3年生は、4月21日(日)～23日(火)の2泊3日の行程で、広島・京都・奈良方面へ修学旅行に行ってきました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したとはいえ、様々な対策を講じながらの実施でしたが、今年度はコロナ禍前とほぼ同様な形での修学旅行が実施できました。大きな怪我や事故もなく、日程を終えることができました。

1日目は広島市内を見学しました。人類史上最初の原子爆弾による惨禍を経験した広島。核兵器廃絶と世界平和実現のため、ひたすら努力し続けた広島。そして多くの被爆者の志を受け継ぎ、後世に平和の尊さを伝えようとする広島。人生の基礎をつくる若い時期に広島を訪れるという事は非常に意味深いものがあると思います。今もなお世界各地で繰り返されている「戦争」を目の当たりにする中で、私たちに何ができるのか?そして何を感じ、何をすべきなのか?この広島から感じるのではないでしょうか。

1日目はあいにくの雨模様でしたが、平和記念公園や原爆資料館の見学を無事済ませ、広島市内の路面電車にも乗車し、京都の旅館「三木半」に宿泊しました。



2日目は、京都市内グループ別「自主見学」を行いました。最近タクシーを利用してグループごとに自主見学をする学校が増えている中、櫛形中学校では公共交通機関を利用し、自分たちの計画に従い、自分たちで判断し、自分たちで行動する、文字通りの「自主見学」を行いました。2年生の頃から事前学習を始め、自ら興味関心を持った見学地を巡る「自主見学」。そのコース作成にこだわった甲斐もあり、予定通りのコースを巡ることができました。

コロナ禍が終息して以来、急激に外国人観光客が増えたこともあり、なかなか思い通りの行動や公共交通機関の利用ができなかったグループもあったようですが、とても有意義なひとときを仲間と過ごすことができました。

夕食後には旅館内の大広間で「清水焼の絵付け体験」も行いました。思い思いの絵を器に描き、「唯一無二、世界にひとつだけの作品」を作成しました。器の焼付作業がある関係で、私たちが完成品を手にするのはもう

少し先になりますが、どのような仕上がりになっているのか。完成が待ち遠しいですね。

3日目は全員で奈良に移動し、世界遺産「法隆寺」の拝観や東大寺大仏殿等を含む奈良公園内を見学しました。世界最古の木造建築である「法隆寺」、世界最大級の木造建築である「東大寺大仏殿」など京都に負けず劣らず見どころの多い奈良。奈良公園では「エサを求める鹿の勢い」に圧倒されていた人もいたようですが、それぞれの楽しみ方で奈良を満喫したようでした。

この修学旅行の3日間を通して、新しいクラスの親睦が深まると同時に、一つの行事を同じ目標を持ってやり通したことで、学年の絆もより一層深まったことと思います。また、新年度がスタートして間もない中、事前の準備をしっかりと行い、参加者全員が帰ってくることができました。

これから本格的に始まる学校生活(日常生活・授業・部活動)においても、修学旅行での経験を生かし、最上級生として一日一日を大切に過ごして行ってほしいと思います。

